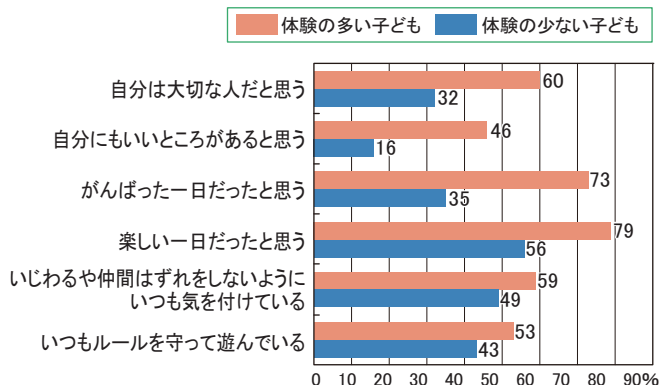


■「子どもの遊び実態調査」(熊本県)



まず、自分の家や友だちの家など、室内で遊ぶ子どもが多い点。ゲームやテレビなど、人や自然と関わったり、身体を動かしたりすることの少ない遊びをしている子どもが多くなっている点です。

また、体験活動や様々な遊びの経験の多い子どもは、自尊心や規範意識が高い傾向があることも分かりました(上表)。

熊本県が「子どもの遊び実態調査」を実施しました。それによると、よく「今の子どもたちは体験が不足している」という声を聞きますが、実際にデータとして明らかにされました。

■子どもは様々な体験活動で大きく成長

放課後子ども教室とは？
放課後等に子どもたちの安心・安全な居場所を小学校に設け、地域の方々と一緒に、子どもたちも様々な活動を体験するための取り組みです。現在本市では、7つの小学校で実施しています。

■放課後子ども教室とは？

放課後等に子どもたちの安心・安全な居場所を小学校に設け、地域の方々と一緒に、子どもたちも様々な活動を体験するための取り組みです。現在本市では、7つの小学校で実施しています。

遊び・まなび・ふれあえる場

「放課後子ども教室」

◆本市では、平成19年度から「放課後子ども教室」を開いています。今回はその取り組みをご紹介します。

■大人が変われば子どもも変わる!?

教育委員会では、子ども教室を通して、地域の皆さんと一緒に、子どもたちの豊かな人間性や社会性を幅広くみたと考えています。幅広いボランティアの方々からご協力いただければ、活動内容が充実し、子どもの未来が広がります。子どもたちの交流を通して、大人のすばらしさを提供しましょう。

■体験活動にご協力いただける方を募集しています。

放課後子ども教室は、活動を温かく見守っていただける方々のご協力により成り立っています。協力できる方は、教育委員会社会教育係までご連絡ください。

教育委員会社会教育係 ☎ 22-3229
メール kyouiku@city.aso.lg.jp

参加者の生の声をご紹介します!

★宮地小学校の放課後子ども教室に参加している木村怜央くん(3年)



「子ども教室にはいつも楽しみに参加しています。手話や習字などたくさんの活動があり、次は何があるのかなとワクワクしています。教えに来てくださる地域の方々とお話するのがとても楽しいです。」

★尾ヶ石東部小学校の放課後子ども教室に参加している鎌倉みらいさん(3年)



「わたしは、放課後子ども教室がとっても大好きです。友だちといっしょにいろいろな活動ができるからです。毎週木曜日がとても楽しみです。とくにグラウンドゴルフが、楽しいです。」



(協力体制)
コーディネーター
活動プログラムの企画や参加の呼びかけ等
安全管理員
子どもたちの安全管理を図る
学習アドバイザー
子どもたちに学習の機会を提供
ボランティア
昔遊びや工作、伝統芸能など、何かを教える、伝える役割を担っていただける方

ALT (英語指導助手) 活動日誌

各国習慣の違いはあっても皆の特別な日・・・

「ハロウィンとクリスマス」

日本でもカボチャの飾り物やお化けの扮装で楽しまれているハロウィン。その起源はヨーロッパのケルト民族の祭にあります。ケルト民族では、

1年の終わりである10月31日から、始まりとなる11月1日に新年祭が行われていました。この祭には農作物の収穫を祝うことや、祖先の霊を弔うことも兼ねられており、やがてヨーロッパから移住した人々によってアメリカへも広められました。

一方、アメリカでは11月1日がキリスト教のすべての聖人を祝う日とされていましたが、10月31日に前夜祭としてケルト民族の祭が組み合わさりました。これが現在のハロウィンです。

これらの祭には、祖先の霊を迎え祝う考えや、祖先に敬意を表すなど、日本の"お盆"に似たところがあるようです。ただ、私の母国（南アフリカ）など南半球の国々ではあまり祝いません。

クリスマスについては、皆さんよくご存知としますので、母国（南アフリカ）のクリスマスについて話します。日本と季節が全く逆なので、真夏のクリスマスです。12月24日から26日まで国民の休日となり、家族が集まります。日本のお正月の感じです。日本ではクリスマスは、恋人や友達と過ごす人が多いですが、私の国やアメリカなどでは家族と過ごします。皆で教会へ行き外食でなくホームパーティで祝います。各国にそれぞれの文化や習慣、祭事がありますが、家族の幸せを願う大切な行事があるのは各国どこも同じです。私にとって阿蘇市で2回目のクリスマスを迎えます。「メリー・クリスマス！」とは、幸せな時間を過ごしてくださいという意味。

"阿蘇市の皆さんメリー・クリスマス！"

ちなみに、南アフリカでは12月は夏休みの真っ最中。1月が新学期（入学式）です。



阿蘇中学校ALT

セシリオ ヴァスコンセロスさん



★坂梨小学校放課後子ども教室コーディネーターの鳴川成清さん

手紙・そろばん・伝承遊び・手話・スポーツなどで毎回楽しんでいきます。私にとつて子どもたちの笑顔は、最高の宝物です。この笑顔をいつまでも守っていきます」

「坂梨小では昨年度から、伝統の虎舞・お話し・切り絵・書道・絵



★内牧小学校放課後子ども教室の安全管理員でお世話になった迫幹雄さん

が近くでもありボランティアとして農園などのお手伝いを続けています。子どもたちに少しでも貴重な阿蘇の野の花を知ってもらおうよう育てています」

「昨年度は放課後子ども教室のお世話をしました。本年は自宅



★碧水小学校に来ていたいた（財）阿蘇グリーンストックの永原彰子さん

『フン虫』探しに草原へ行きました。また、草の繊維が多い牛フンで紙作りにも挑戦しました。牛馬が近寄ってもフンを触っても抵抗なく楽しむ姿に、さすが『草原の子の遺伝子』を受け継ぐ子どもたちだ！と頼もしく感じました」

「あ！おった！木の枝で夢中になって牛のフンをほりほり。子どもたちと



★山田小学校放課後子ども教室に来ていただいたボランティアの井上夜美さん

してはる』の音が響きます。ゲーム機を見事に扱う子どもたちも、この時間は頭を使います。これが脳にとっても良い刺激になるとか。パソコン社会の今だからこそ、人の優しさ・思いやりが育つと思っています」

「今時そらばんですか？そんなに言われる方が多い中、夕方方の教室に、



★波野小学校放課後子ども教室に来ていただいたボランティアの佐藤玉美さん

らうれしそうな顔。体を思いっきり動かして子どもたちは遊んでいました。今、身近な物を使って懐かしい遊びをしてみても、人とのつながりが心を和ませることを感じました」

「校庭の隅にある色づいた八重桜の葉。切符にして子どもに渡した